



## 変えよう！税金の使い方

西田市政2期通算6年目も、相変わらず大型公共事業一辺倒の予算が押し進められています。昨年8月のさくらネットワーク通信では「100億円あれば何ができる？税金の使い方を考える」と問題提起をしましたが、その後を検証します。

### 貯金取り崩し 2024年度予算

2024年度予算は、人件費、物件費、維持補修費などの経常的経費（固定費）が昨年度に比べて20億2千万円も増加したため、市の貯金である財政調整基金等を35億7千万円も取り崩して対応しました。例年の倍近い、異常な事態です。市は物価高やエネルギー価格の高騰、人件費が増えたことが主な要因で、この傾向は続くと言っていますが、それにもかかわらず、不要不急の大型公共事業を見直そうとしていません。その影響は市民生活にきています。

### 市民生活無視の 大型公共事業は止まらない

●ふるさと広場拡張整備事業  
総事業費は18億2千万円と4億8千万円も膨れ上がりました。今年度分は3億5080万円を計上。うち、土地購入費は3億5032万円。

### ●里山自然公園

#### 旧(仮称)西部自然公園

東邦病院裏手に広がる73・8haの公園用地で、民有地と市有地が混在し、境界確定も済んでいません。今年度事業費は9849万円を計上。うち、重点整備区域内の2haの土地購入費6695万円は、昨年度地権者との話がまとまらなかったための繰り越し。さらに、25・26年度分として、1億3187万円（5・2ha）が予定されています。

「民間事業者との公民連携」を打ち出していますが、土地利用の明確な目的は決まっています。

### ●市道飯野II-31号線

総事業費は約10億円。ふるさと広場から草ぶえの丘に通じる1・2kmの道路新設事業に、今年度は1億5984万円を計上。うち、土地購入費は3198万円。山林を切り崩し、貴重な保全湿地の脇



ユーカリが丘1丁目  
ゴロゴロと砂利がむぎ出しの危険な歩道

を通すため、環境破壊の問題も発生しています。

以上、3つの事業費は、総額6億913万円にもなります。

他に、24年度予算には入っていないが、「都市計画道路 岩富・寺崎線」総事業費40億円の計画もあります。東関東自動車道を超え、国道51号線につながる2・2kmです。すでに1880万円、2900㎡の土地を取得済みですが、起点・終点の土地取得のめどは立っていません。

### 通学路・生活道路の 整備予算は減額

一方、通学路・生活道路の改修や街路樹の整備事業は、実施計画では約5億円ついていましたが、実際の予算は半分の2億5千万円に減額



市議 伊藤とし子

され、その影響は深刻です。

たとえば、ユーカリが丘1丁目自治会、小竹小学校PTAから通学路の歩道整備の要望が、以前より出されてきました。街ができて42年、歩道は街路樹のクスノキの根上りに加え、舗装の劣化が深刻で、路盤の砂利がむぎ出しになり、足を取られて転倒事故が続いています。

登下校時の見守りを行っているスクールガードの方が把握しているだけでも、児童の転倒事故は21年度5件、22年度6件、23年度7件（うち救急要請は2件）の7件中5件は小学1年生で、慣れない通学、重いランドセル、両手が荷物でふさがっているため、顔面や頭を打っています。他に大人の救急要請も1件あり、年々深刻になっています。街路樹の植替えを含めた抜本的な歩道整備が急がれます。

### 図書館の充実を

22年度末、文部科学省は「第5次子どもの読書活動推進基本計画」で図書館資料の計画的整備や司書の配置促進を掲げています。ところが、24年度の佐倉市の学校図書購入費は小学校は1校当たり27・1万円（全国46・8万円）、中学校は49・6万円（全国65・7万円）と、22年度全国平均と比べても大変低く、新し

### 人口減少が止まらない

日本の購入が滞っています。子どもたちからは「読みたい本がない。新しい本がほしい」という声があがっています。学校の図書室も市の図書館も、同様の状況です。教育は子どもたちにとって、未来へのパスポートです。図書費を充実させるべきです。

2020年度国勢調査によると、人口増加率の高い順に流山市14・67%、印西市10・77%、習志野市5%、四街道市4・92%です。近隣市では八千代市3・34%、成田市0・26%です。一方、佐倉市はマイナス0・47%。周辺自治体は軒並み人口増なのに、佐倉市ではこの5年間で5500人も減少しました。市税収入を上げようにも、人口減少ではお手上げです。

税金の使い方を見直し、若い人が住み続けたいような街づくりにチェンジすべきです。

### 調理講習会

#### 災害時でも温かい食事を！

7月11日(木) 10:00~13:00

講師：土谷千穂さん（災害食講習会を地域で実践）

参加費：無料 先着30名 持ち物：エプロン

場所：志津市民プラザ 調理室（志津駅北口徒歩5分）

災害はいきなりやってきます。ライフラインが止まっても、家にある食材で温かい食事がとれたら、力が湧いてきます。湯せん調理で、ご飯とおかずを作ってみませんか？

\*電話にてお申し込みください。043-462-0618 締切：7/5

# 運転手不足が深刻化 佐倉市の現状

4月から労働環境改善のための法改正が行われ、労働時間短縮のため、運転手不足が加速しています。佐倉市でもバスの減便が相次ぎ、市民が困っています。市が具体的な対策を立てている気配はありません。

宮ノ台を走る東洋バスの廃止も協議され、影響は広がる一方です。影響を受ける地域の市民や利用者の調査を行うように議会が質問しましたが、市はアンケート調査をやる考えはないとしています。

交通の便の確保を求める声は切実です。八千代市では、独自に高齢者タクシー利用助成制度に予算2600万円を計上しています。条件はありますが、500円券を年間最大96枚交付しています。佐倉市でもこのような独自の施策が必要です。

市は、2013年から5年間、南部地域でデマンド交通（予約制の乗り合いタクシー）を運行してきました。しかし、前日まで

の予約が必要など使い勝手が悪いこともあり、利用者低迷で終了しました。

県内では、市原市や酒々井町などでデマンド交通を運行しています。成功している自治体の例を参考に、再び検討することですが、進んでいません。

また、南部地域のコミュニティバスは、JR佐倉駅まで直通で行けず、不満の声が出ています。市民が利用しやすいように、改善すべきです。

## 有機農業

# 「オーガニックビレッジ宣言」から、早1年…



市議 松島こずえ

### いすみ市に学ぶ

佐倉市は昨年3月に、有機農業を推進する「オーガニックビレッジ宣言」をしました。昨年度は6軒の生産者が技術指導を受け、有機米を栽培。市内の小中学校で、2〜3日間、有機米の給食が提供されました。

いすみ市は2017年に学校給食をすべて有機米に変え、野菜の有機化も順次進めています。お米の市場価格に上乗せして市が負担する形で、今年度は有機米に460万円の予算を計上しています。販路確保や収入補償により、有機米は29軒、有機野菜は11軒と生産者が増えています。オーガニック給食に興味がある子育て世代や、有機農業に関心のある人の移住相談も増加しています。

### 補助金頼みの有機農業推進

佐倉市は有機農業については、市の予算よりも国からの補助金頼みです。オーガニックビレッジの補助金は、自治体が自

立して取り組んでいくことを目的としているため、原則3年間、金額は22年度約850万円、23年度約790万円、24年度約590万円と毎年減額されています。補助金終了後にいつ、市は「他の補助金を探す」と答弁していますが、有機農業を推進するためには市独自の予算を使い、本格的に取り組むべきです。

さらに、今年度の有機米生産者に対し、買い取る約束もしていません。継続して買い取り、収入補償をすることが重要です。

### 場所がない

市内で有機農産物を購入できる場所が少なく、不十分です。生産者は自分たちで場所を借りて販売を行っています。曜日や場所が限られています。有機農産物を購入したい市民が、いつでも購入できる場所がもっと必要です。

さくらネット事務所で、毎月有機野菜を販売しています。新鮮でおいしいと、好評です。

農薬・化学肥料不使用  
朝採り新鮮野菜

販売を始めました  
第1・3月曜日 10:00~12:00  
(日曜日の場合は休、先月同様、休)

場所：さくら市民ネットワーク事務所前  
(佐倉市王子台3-5-13)

佐倉市内の生産者が、安心・安全な食をめざして作っている、おいしくて新鮮な野菜です。

このチラシを所持の方で、お買い上げの際に、野菜をプレゼントします。

### 足の確保を

交通の便の確保を求める声は切実です。八千代市では、独自に高齢者タクシー利用助成制度に

予算2600万円を計上しています。条件はありますが、500円券を年間最大96枚交付していることですが、進んでいません。

# 断熱化対策で子どもたちを守る

伊藤とし子

## 最悪な学習環境の中で

学校の校舎は断熱化がされていないため、夏は暑く、冬は寒く、子どもたちの学習環境は最悪です。

前真之さん(東大准教授)の埼玉県内での調査によると、7月の最上階教室の天井は42℃にもなり、エアコンを17℃に設定しても室温は31℃にしか下がりません。さらに、窓を閉め切っているため、CO<sub>2</sub>濃度は3300ppm(文科省基準1500ppm)となり、空気が汚れているため、適切な換気が必要です。

## 断熱改修がカギ

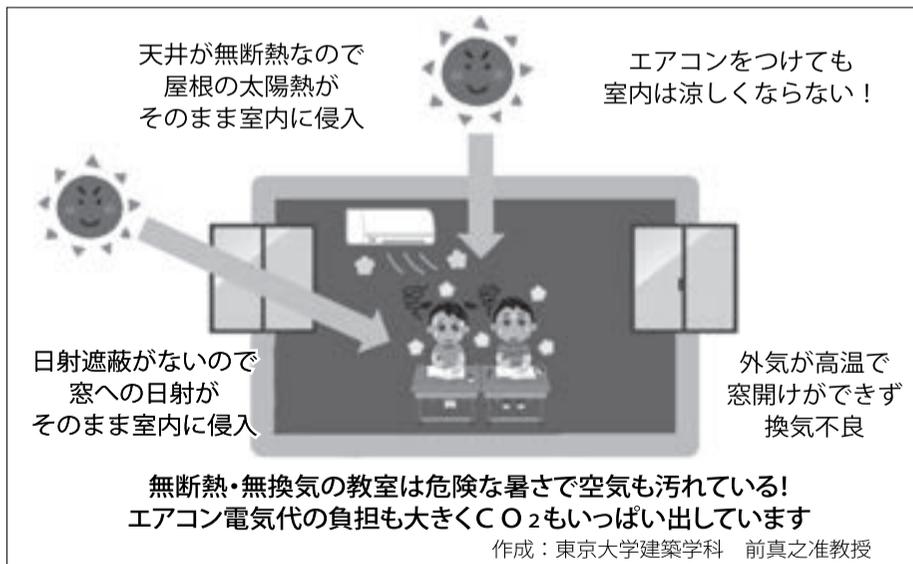
佐倉市内の普通教室にはエアコンが100%設置されていますが、あと15年で一斉更新の時期を迎え、その費用は25億円です。ま

た、毎年の電気代は約2億円かかっています。

天井、壁、窓の断熱改修、換気設備を行えば、室温は文科省基準の28℃に下がります。電気代は節約でき、更新時のエアコンの小型化で、コストカットにつながります。また、CO<sub>2</sub>削減ができ地球温暖化対策となり、地域の工務店の仕事づくりにもなります。

1教室100~150万円の改修費がかかりますが、十分元を取れます。それには更新時期の2039年までに全学校の改修工事を計画的に行っていく必要があります。

文科省も3月、「学校施設のZEB化の手引き」を作成。本腰を入れています。市として、積極的に取り組むべきです。



窓の断熱強化



天井の断熱材





# 訪問介護が危ない



市議 五十嵐ともみ

## 改悪の中身は

介護保険制度は3年ごとに改定されます。2024年度の今回は史上最悪の介護保険改定と言われていましたが、反対の声が大きく、改悪はとりあえず中止となりました。

- ① 要介護1・2の訪問介護・通所介護を総合事業へ移行し、介護保険給付から外す
  - ② 現在は無料のケアプランを、利用者負担にして有料化
  - ③ 介護保険の利用料の2割負担対象者の拡大
  - ④ 訪問介護と通所介護を一体的に提供する「複合型サービス」の創設(できるあては?)
- この改悪案はすべて3年後に先送りとなりました。

## 小規模ほど大変

ところが、今年になって示されたのが、訪問介護事業者の基  
本報酬引き下げです。国は介護  
事業所の経営実態調査で、訪問  
介護の収益率は7・7%であり、  
全事業所平均2・4%より高い  
ことを引き下げの理由として  
います。

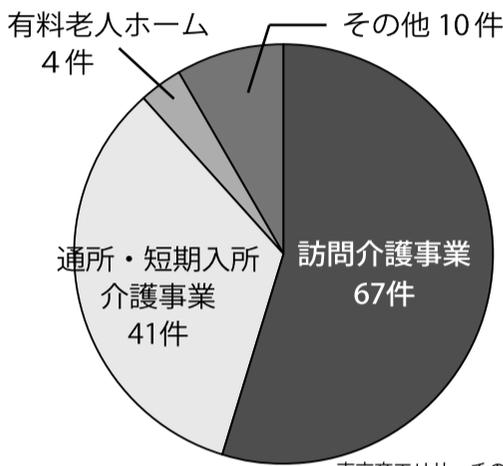
しかし、高い収益を  
上げているのは、サー  
ビス付き高齢者向け  
住宅(サ高住)のよう  
に施設内に訪問介護  
事業所が入っていて、  
効率よく訪問できる  
ところ。ほとんど  
が大手企業の経営で  
す。一方、地域の小規  
模事業所は、利用者宅  
を1軒1軒回るため、

報酬の引き下げで事業所の  
収益が悪化すれば、ヘルパーな  
どの賃金を下げざるを得なく  
なり、介護従事者は安心して働  
くことができなくなり、最  
悪、事業所の閉鎖に追い込まれ  
てしまいます。

## 「住み慣れた地域で暮らす」はどこへ

移動に時間がかかり、待機時間  
も発生します。移動時間や待機  
時間などは報酬に含まれない  
ため、収益率が低くなります。

老人福祉・介護事業の倒産件数  
2023年1-12月



つつじ薫る春の昼下がり、介護カフェの常連メンバーの皆さんと、八千代市の認知症対応型デイサービス「めいちゃんの家」を訪問しました。映画「となりのトトロ」メイちゃんの親しみやすいイメージです。一軒家を買取りデイを始めた管理者の白井徹さんは、元々介護大手で働いていましたが、理想の介護を目指し、脱サラして仲間と共に立ち上げたと言います。



左端が白井さん

ソファの広間に案内されると、ウサギやインコ、ハムスターの他、猫の会長あずき君が皆の真ん中でお腹出してゴロン。思わず笑みがこぼれます。

概ね6～8名の利用者に職員は3名、朝の送迎で利用者が集まった後、昼は何を食べようかと皆で相談し、一緒に食材を買い出しに行ってワイワイと昼食作り。もちろん自分の買い物があればついでに済ませています。認知症と言っても、包丁を扱っての料理、ノコギリを使っての大工仕事や洗車等、得意分野にどんどん携わっています。ここでは大手の施設では得られない、利用者の「やり甲斐」と「生き甲斐」

が発揮される場所づくりが実現されているなど感じます。参加メンバーも口々に、こんなデイが佐倉市にもあれば良いのに…と話していました。

魚住公成 (佐倉市在住)



### ■「介護のおしゃべりカフェ」

毎月第4水曜日 13:30～ さくらネット事務所にて開催。  
みんなで楽しくお茶をしながら、おしゃべりしましょう。

## 認知症デイサービス「めいちゃんの家」を訪問

## 議員の厚生年金は必要か？

市議 伊藤とし子

2月議会で、「議員の厚生年金加入を求める」意見書が出されました。内容は「地方議員のなり手不足解消のため、会社員が立候補しやすくして、転身後の老後の生活や家族の心配がないよう、地方議員も厚生年金に加入できる法整備を求める」というものです。市民ネットワークは反対しましたが、賛成多数で採択され、佐倉市議会から国に提出されました。

2011年に議員年金が廃止され、現在、議員活動のみの議員は国民年金に加入しています。「厚生年金に加入する」ということは、地方公務員等共済組合法を改正して、常勤として扱われる首長や自治体職員と同じように、新たに議員を被保険者に加えよ、ということです。

老後保障というのなら、国民年金の被保険者すべてが、安心して暮らすことのできる最低額の引上げを国に求めていくべきです。

議員が厚生年金に加入する場合、保険料を市が半分負担することになります。その場合、佐倉市は2千万円、全国では160億円が必要となります。

2011年に議員年金制度が廃止された時点で、資格を得ていた元議員には、現在年金が支給されています。廃止時点で50年続くとされ、累計で1兆円が必要です。佐倉市議会の場合、2023年度は4730万円、全国では308億円が年金として公費負担となりました。

国民年金充実への言及もなく、今よりさらに公費負担が増える議員の厚生年金加入を求めることには、反対です。

# 県議会報告

## 人を大事にする街づくりを

県議 川口えみ



日本初の女性弁護士・三淵嘉子さんをモデルにしたドラマが話題です。困難な時代に、道なき道を切り拓いた女性たちの物語ですが、今の時代にも共通するテーマとなっています。

### 女性の権利がない時代

ドラマの中で、大日本帝国憲法には、「婚姻状態にある女性は無能力者」と書かれていることを知り、驚きました。結婚により女性の持ち物の管理は世帯主となります。『結婚して良かった』という主人公の言葉にうなずきました。

女性の権利が認められない時代を背景としています。現代でも、「寅子は自分だ」と、共感する女性たちがたくさんいます。

日本国憲法の草案者の一人であるベアテ・シロタ・ゴードンさんは戦前、当時の日本女性の地位の低さに心を痛めていました。その思いを結実させたのが、憲法24条です。婚姻は、両性の合意のみに基いて成立する、と男女平等の精神が謳われています。近年、両性というのは男性女性だけでなく、LGBTQも含まれると解釈が変わってきました。

### 県職員 同性パートナーも認める改正

今年1月から千葉県多様性尊重条例が施行されました。条例施行や社会情勢を受け

### 困難な問題を抱える女性への支援

4月から施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)に基づき、千葉県では基本計画が作られました。「女性の福祉」、「人権の尊重や擁護」、「男女平等」といった視点に立ち、困難な問題を抱える女性一人一人のニーズに応じて、切れ目のない包括的な支援を行うとしています。

県は、相談事業や居場所づくりなどの支援事業を、市民団体など外部に委託する予定です。すでに活動している団体の意見を十分取り入れるよう、3月6日予算委員会で質問しました。

### 子どもが増える流山市

厚労省が発表した2018〜22年の合計特殊出生率で、県平均は1.25と、全国平均の1.33を下回りました。最も高い流山市は1.59、袖ヶ浦市は1.55、印西市は1.54、四街道市は1.49、佐倉市は1.15。出生率が一番の流山市は、交通の便の良さに加え、数々の施策を行っています。

### 交流人口増加策

駅前が車が入らない構造にした広場を作り、流鉄流山線の活用など、今あるものを上手に活かし、お金をかけずに家族で楽しめるイベントを開催。ヒト・モノ・オカネが流しやすくなる街から、集まる街になりました。

### 緑あふれる街づくり

グリーンチェイン戦略として植栽を増やし、緑あふれる景観とすることで、街なかの温度を下げる。同時に、観光資源にもなり、資産価値の向上にもなりました。

### 定住人口増加策

共働きの子育て世代をメインターゲットとし、子どもの近くで働ける街づくりとして、駅前の送迎ステーションを2か所整備、チャイルドシートの貸出等を行っています。

### 市民参加のまちづくり

タウンミーティングを累計220回以上開催。2023年度の調査では、住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合は81%、これか

らも流山市に住み続けたいと思う市民は91%にのぼっています。

市は現在、こども基本法に基づく「(仮称)流山市こども計画」の策定中です。子ども、若者からの意見募集をし、その中から3つのテーマを選び、具体的な解決策について、こども会議を開催。市長・教育長同席の報告会で、子どもたちが市に提案しました。いまや流山市は、全国で有数の住みたい街として人気があります。人を大事にする街づくりが、人口増の鍵となります。

### 議会予定

■ 千葉県議会 6月定例議会 (予定)	■ 佐倉市議会 6月定例議会 (予定)
6/13 開会 ~ 7/9 閉会	6/3 開会 ~ 6/24 閉会
6/19 ~ 21, 24 ~ 27 一般質問	6/10 ~ 13 一般質問
7/1 ~ 4 常任委員会	6/17 ~ 20 常任委員会

\*傍聴においでください。本会議は、インターネットでも視聴可能です。

### さくらネットギャラリー

■ 「和布であそぶ」展  
5/27(月) ~ 6/28(金)



■ とんぼ玉の展示・販売  
7/30(火) ~ 8月下旬  
\*とんぼ玉工房ボンジュック



### 映画上映会

■ 「権力を恐れず真実を  
米国下院議員バーバラ・リーの闘い」  
ドキュメンタリー映画  
6/29(土) 13:30 ~ 16:00  
佐倉市立美術館4階ホール  
参加費 無料

9.11直後、武力行使を大統領に一任する決議にただ一人反対。国家権力の暴走を防ぐ活動に身を投じてきた米国下院議員バーバラさん。その生き方に勇気づけられます。



こどもの権利を学ぶ学習会にて、流山市の取り組みを学ぶ。千葉子どもサポートネット代表 米田修さんと (4/14)

### 岩橋ゆり ジャズ・チャリティライブ

日時 7月13日(土)14:00 ~ 16:00  
場所 「スペース結」(王子台1-26-7)  
(京成臼井駅南口 徒歩5分)  
参加費 2000円  
\*チケットのお申込みはさくらネットまで

さくらネットが応援してきた生活困窮者の支援団体「反貧困ささえあい千葉」が今、財政難のため継続が難しくなっています。運営を支えるためのライブに、ぜひ多くの方の支援と参加を！ピアノ伴奏つき、魅惑のハスキーヴォイスをお楽しみください。チケット売り上げは全て「ささえあい千葉」に寄付します。

### 能登半島地震義援金を石川県に送りました

さくら・市民ネットワークでは能登半島地震被災地への義援金を呼びかけ、7万円を石川県に振込みました。皆様のあたたかい応援・ご協力、ありがとうございました。

どなたでもお気軽にどうぞ

\*問い合わせ・申込み  
さくら・ネット TEL 043-462-0618